

免許状教科	高等学校Ⅰ種（公民）		
科目名	公民科教育	科目分類	教職科目
			経済学科 ■必修 □選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Lecture of Civic Education	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
		開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中
ふりがな	いど まさみ	修得単位	4単位
担当者名	井門 正美	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用
授業のテーマ	本講義では、公民科の教育内容と教育方法について理解すると共に、公共、政治経済、倫理の科目の中から1つを選択し、単元を決め指導案の作成と授業づくりを行う。その上で、模擬授業実践を行う。		
到達目標	1. 公民科の目標及び教科内容を理解する。 2. 公民科の具体的実践事例をもとにして、教育方法と評価方法について理解する。 3. 公民科教育の問題状況を捉えた上で、役割体験学習論に基づく知識と行為の統一的な授業づくりと授業実践ができる。		
授業概要	この科目は、高等学校の公民科の教員免許を取得するための講義科目である。公民科の目標は、生徒に「公民としての資質」を育てることにある。こうした目標を達成するためには、教師は知識と行為の統一的な学習を組織しなければならない。特に、当科目では、まず、公民科の教科としての特色について概説し、次に、公民科の教育内容と教育方法、そして評価方法に関して考究する。その上で、知識と行為の統一的な学習による社会的実践力（生きる力）の育成を図る役割体験学習論に基づく公民科の授業づくりを行う。この授業づくりでは、指導案作成と模擬授業を行う。 なお、本講義科目は、前期(8月下旬から9月上旬)と後期(3月上旬)とに分けて実施する。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション(授業「一本のバナナから」)	第17回	社会科・公民科の授業づくりのポイント
第2回	社会科・公民科教育の問題状況	第18回	授業づくり1
第3回	役割体験学習の必要性(理論と実践例)	第19回	授業づくり2
第4回	役割体験・実践に基づく社会的課題解決	第20回	授業づくり3
第5回	人口減少社会と地方創生―秋田の課題解決案―	第21回	授業づくり4
第6回	日本と秋田の人口減少問題と秋田の課題	第22回	授業づくり5
第7回	役割体験授業紹介―秋田のハタハタ漁―	第23回	授業づくり6
第8回	ゲーミング・シミュレーション「秋田の地方創生」	第24回	授業づくり7
第9回	県庁職員になったつもりで活性化策を考える1	第25回	授業づくり8
第10回	〃 2	第26回	授業づくり9
第11回	活性化策のプレゼン作り1	第27回	授業づくり10
第12回	活性化策のプレゼン作り2	第28回	授業づくり11
第13回	活性化策を提案する	第29回	模擬授業1
第14回	活性化策提案に対する質疑応答と教師による講評	第30回	模擬授業2
第15回	後期集中講義に向けた案内と準備	第31回	模擬授業に関する質疑応答と教師による講評
第16回	前半集中講義の課題等提出	第32回	最終課題提出
授業時間外の学習	本講義は公民科の授業づくりを実践する。前期集中で役割体験学習の理論を学び、後期集中で理論に基づく授業づくりを行う。授業づくりには時間がかかるため、前期と後期の間にメールや ZOOM 等でのやり取りを行った上で、後期で各時が指導案並びに本時展開を作成し模擬授業を行う。時間外の学習は、特に、前期と後期の間の期間に随時行うことになる。		
履修条件 受講のルール	教職課程で公民科の免許取得を目指していること。 指定するテキストを購入し、受講すること。		

テキスト	『人口減少社会における地域づくり－役割実践法による－』（仮題、価格未定）
参考文献・資料	文部科学省『高等学校学習指導要領解説公民編』『中学校学習指導要領解説社会編』
成績評価の方法	前期集中講義は、秋田の地方創生に関するプレゼンテーションを評価対象とすると共に、役割体験学習の理解度テストを行う。後期集中講義は指導案と模擬授業(授業用プレゼンファイルと授業)、集中講義終了後に提出する最終課題(修正指導案と修正授業用プレゼンファイル)を評価する。前期・後期の評価に基づき評定する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	集中講義
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	集中講義は前期・後期各三日間で実施します。大変ですが充実した講義にしたいと思います。実習で責任ある授業をしなければなりませんから、意欲的な取組みを期待しています!!